

※評価基準…A：達成できている　B：どちらかと言えば達成できている。　C：どちらかと言えば不十分である。　D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	評価の視点	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策
1 学校運営	(1)運営方針等	スクールポリシーの策定	次に掲げる3つの方針（スクールポリシー）を策定し、公表しているか。 ・高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針 ・教育課程の編成及び実施に関する方針 ・入学者の受入れに関する方針	A	・スクールポリシーはホームページ掲載し、「創立の思い」とともに、生徒の置かれた現実に対応した柔軟な教育を実践できるよう努めている。 ・通信教育実施計画は生徒マイページ・ルネ校グループホームページに掲載・公開している。	
		通信教育実施計画の作成	次に掲げる事項を記載し作成し、公表しているか。 ・通信教育を実施する各教科・科目等の名称及び目標に関すること ・通信教育を実施する各教科・科目等ごとの通信教育の方法及び内容並びに一年間の通信教育の計画に関すること ・通信教育を実施する各教科・科目等ごとの学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準に関すること	A		
	(2)教職員の配置等	きめ細かな指導ができる教員配置の充実	教諭等の数は、在籍する生徒数を80で除して得た数以上とし、かつ、教育上支障がないものとなっているか。	A	・教諭等の数は38名であり、在籍する生徒数を80で除して得た数以上かつ、教育上支障がないものとなっている。 ・養護教諭を藤沢本校には2名配置（うち1名は公認心理師資格、看護師資格を有する）している。 ・スクールカウンセラー（相談延べ人数77人）、スクールソーシャルワーカー（相談延べ人数29名）を配置、特別支援コーディネーターを指名している。 ・校内外における研修機会を各主事主導で設定し、研修履歴を記録している。	多様性対応するため今後も採用を続けていく。
		不登校経験や中途退学その他多様な課題を抱える生徒の実態等を踏まえたきめ細かな支援の充実	・養護教諭を配置しているか ・スクールカウンセラーを配置しているか ・スクールソーシャルワーカーを配置しているか ・特別支援教育コーディネーターを指名しているか	A		
		添削指導等の質の確保、向上を図るための研修機会の充実	・校内外における研修機会を設定しているか ・学校における教員への評価や教員自身のキャリア形成への意識向上に活用するため、研修履歴を記録しているか	A		
	(3)財務関係	学校設置会社の役員及び株式の状況	学校設置会社の役員及び株式の状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものであるか。	A	・学校設置会社の経営及び財務に関する状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものである。 ・就学支援金については、適正に執行されている。愛知県私学振興室による就学支援金指導監査についても問題なしと評価されている。	
		学校経営に必要な財務等の状況	学校に必要な財務等の状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものであるか。	A		
		高等学校等就学支援金	高等学校等就学支援金に係る事務を適切に執行しているか。	A		
	(4)施設・設備	本校、面接指導等実施施設に備えるべき施設・設備	・教科・科目等の授業に必要な実験・実習等のための施設及び設備が備えられているか、体育の授業に必要な運動場等が確保されているか ・多様な生徒の実態を踏まえ、保健室の整備を行うなど、生徒にとって安心・安全な居場所を提供できているか	A	・教科・科目等の授業に必要な施設及び設備は備えられている。 ・保健室も整備されており、生徒にとって安心・安全な居場所を提供できている	
	(5)危機管理	法令義務のある計画の作成等	・学校保健計画、学校安全計画、危機等発生時対処要領、学校いじめ防止基本方針等を作成しているか ・避難訓練を実施しているか	B	・法令義務のある計画を作成している。 ・避難訓練は2025年3月に実施予定であるが、未実施の為B評価とする。レッドゾーン指定もあり安心安全の為、危機を想定し実施する。 ・法定点検は問題なく実施している。 ・個人情報管理については、会社として管理しているサーバ上に置き、特定のVPN経由でなければアクセスできないように設定している。教員PCローカルフォルダに個人情報の保存をしないことの徹底、入室可能エリアの設定、個人情報保護研修・eラーニングを用いた研修も行い、情報漏洩防止徹底を図っている。	・避難訓練の実施
		施設の適切な維持管理	法定点検を実施しているか。	A		
		個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われているか。	A		

※評価基準…A：達成できている　B：どちらかと言えば達成できている。　C：どちらかと言えば不十分である。　D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	評価の視点	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策
2 教育課程等	(1)添削指導・面接指導等	各教科・科目等の学習時間や学習内容の設計	1単位当たり35単位時間の授業が標準であることを踏まえ、面接指導・添削課題等の学習時間や学習内容について、指導要領に定める各教科・科目等の目標を達成するものとなるよう、適切に設計の上、指導が行われているか。	B	・面接指導・添削課題等の学習時間や学習内容について、指導要領に定める各教科・科目等の目標を達成するものとなるよう、通信教育実施計画に教科目標・学習目標を定め、適切に設計の上、指導している。本校の特徴である幅広い生徒層に学習内容を個別最適化できるようさらなる教材の拡充を図る ・添削指導の実施に当たっては生徒が学びを深められるよう姉妹校の科目担当とも教科理解をしながら、フィードバックを行っている。 ・面接指導は生徒の実態把握や計画的・体系的な指導できるようにし、活動を積極的に取り入れ、1教室40人以下で実施している。発問・討論・発表のサイクルを展開する授業、体育・美術などでは実技実習の授業を積極的に取り入れ、生徒が主体的に取り組めるような授業設定を行っている。発表が苦手な生徒にはグーグルフォームによる意見集約を行い、意見ができる仕組み実施している。	・2025年度より授業料値上げに伴い、学習教材の拡充を実施。標準学習時間を延長し自学自習の習慣を高めるようにする。現状では拡充前のためB評価とした。
		生徒一人一人の学習状況に応じた添削指導	添削指導の実施に当たっては、正誤のみの指摘や、解答に対する正答のみの記載、一律の解説の記載となっていないか。	A		
		計画的かつ体系的な指導	一定の時期に面接指導を集中的に行う（いわゆる「集中スクーリング」）ことなどによって、年度の前半に全ての面接指導を終える生徒がいるなど、生徒の実態把握や計画的・体系的な指導という観点から課題が生じていないか。	A		
		面接指導の工夫	主体的・対話的で深い学びをさらに発展させるため、講義中心の学習活動以外の活動を積極的に取り入れているか。	A		
		面接指導の人数	同時に面接指導を受ける生徒数は40人以下となっているか。	A		
	(2)試験・学習評価	試験の内容と実施時期	・添削指導及び面接指導等の内容と十分関連付けて、その内容及び時期を適切に定めているか ・学期末以外の時期に行われる集中スクーリングにおいて試験を実施していないか	A	・定期試験は適切な時期（4月入学者は11月以降、10月入学者は5月以降）に実施している。 ・評価の観点はレポートや視聴確認テストにも各教科の教員にて配分を行っている。動画学習の視聴前後で同一の問題を選択式と論述式で問うなど、理解度の把握も工夫をしている。評価基準は具体的に設定されており、学習マニュアル等で生徒保護者にも公開されている。	
		具体的な評価基準の設定	評価の3観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）及び趣旨を十分踏まえた具体的な評価基準が設定されているか。	A		
3 生徒支援	(1)生徒支援	生徒個々の実情に応じた支援	いわゆる非活動生や、履修登録しているにも関わらず添削課題への取組や面接指導への参加が困難な生徒に対し、個々の実情に応じ、適切な指導又は支援が行われているか。	A	・個々の実情に応じ、スクーリング参加時間の調整、実施場所、人数の調整などニーズに合わせ臨機応変に対応している。 ・管理職、保護者、ソーシャルワーカーと連携しながら、適切な指導、支援ができるよう取り組んでいる	
	(2)進路指導	生徒の社会的・職業的自立に向けた支援	進学・就職支援を担当する教職員やキャリアカウンセラーの配置により生徒の社会的・職業的自立に向けた支援の充実が図られているか	A	・教員による進路説明会・面接練習会・学校合同説明会の実施や、キャリアカウンセラーによる「進路カウンセリング」、「コミュニケーション講座」を実施している。	
4 その他	(1)学校評価		「学校運営点検調査」、「豊田市教育特区学校審議会」ほか学校関係者による評価、それぞれの立場・視点から意見を出し合うことを通し、開かれた学校づくりが進められているか。	A	・学校関係者評価を実施し、よりよい学校とできるよう、意見交換をし、開かれた学校づくりに努めている。 学校関係者評価アンケート「入学してよかったか」について満足度は95.2%であった。 学校関係者評価委員会構成：校長・教頭・保健主事・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・保護者	
	(2)通信教育連携協力施設との適切な連携協力関係の確保		・通信教育連携協力施設との連携協力について担当する教職員を配置しているか ・通信教育連携協力施設に対する本校職員の訪問や通信教育連携協力施設の職員を集める会議等が行われているか	A	・連携協力について担当する教職員を配置している。 ・各拠点定期的に職員が訪問し、毎週月曜日9：30～10：00に全拠点参加の全体朝礼、スクーリング前日の会議をオンラインで実施し、連携を高めている。	
	(3)情報公開		高等学校通信教育規程第14条第1項に掲げる事項（定員、通信教育を行う区域、名称及び位置、教職員数と組織、授業料・入学金等）をはじめ、学校の教育環境や取組、学校運営が適切に把握できるよう、必要な情報をホームページ等で公開しているか。	A	・ホームページ等にて学校の教育環境や取組、学校運営が適切に把握できるよう公開している。	
	(4)他校及び関係機関との連携		姉妹校・他校や自治地区・地域の組織と交流をもち、情報交換等を行い、学校全体の教育力を高められるよう努めているか。	A	・姉妹校との連携や、地元他校の授業見学、地域組織（とよた多世代参加プロジェクト、ゆるっとほけんしつ）と交流を持ち、学校全体の教育力を高められるよう努めている。	

※評価基準…A：達成できている B：どちらかと言えば達成できている。 C：どちらかと言えば不十分である。 D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	評価の視点	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策
1 学校運営	(1)運営方針等	スクールポリシーの策定	次に掲げる3つの方針（スクールポリシー）を策定し、公表しているか。 ・高等学校学習指導要領に定めるところにより育成を目指す資質・能力に関する方針 ・教育課程の編成及び実施に関する方針 ・入学者の受入れに関する方針	A	・スクールポリシーはホームページ掲載し、「創立の思い」とともに、生徒の置かれた現実に対応した柔軟な教育を実践できるよう努めている。 ・通信教育実施計画は生徒マイページ・ルネ校グループホームページに掲載・公開している。	
		通信教育実施計画の作成	次に掲げる事項を記載し作成し、公表しているか。 ・通信教育を実施する各教科・科目等の名称及び目標に関すること ・通信教育を実施する各教科・科目等ごとの通信教育の方法及び内容並びに一年間の通信教育の計画に関すること ・通信教育を実施する各教科・科目等ごとの学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準に関すること	A		
	(2)教職員の配置等	きめ細かな指導ができる教員配置の充実	教諭等の数は、在籍する生徒数を80で除して得た数以上とし、かつ、教育上支障がないものとなっているか。	A	・教諭等の数は38名であり、在籍する生徒数を80で除して得た数以上かつ、教育上支障がないものとなっている。多様性対応するため今後も採用を続けていく。 ・養護教諭を豊田駅前キャンパスには3名配置（うち1名は看護師資格を有する）している。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置、特別支援教育コーディネーターを指名している。 ・校内外における研修機会を設定し、研修履歴を記録し、キャリア形成への意識向上に活用している。 ・通学スタンダードコース（在籍30名）を設置し、週3日実施し、学びの機会を創出。 ・月に1回数学の勉強会を実施し、希望者が参加している。参加人数延べ人数182名	多様性対応するため今後も採用を続けていく
		不登校経験や中途退学その他多様な課題を抱える生徒の実態等を踏まえたきめ細かな支援の充実	・養護教諭を配置しているか ・スクールカウンセラーを配置しているか ・スクールソーシャルワーカーを配置しているか ・特別支援教育コーディネーターを指名しているか	A		
		添削指導等の質の確保、向上を図るための研修機会の充実	・校内外における研修機会を設定しているか ・学校における教員への評価や教員自身のキャリア形成への意識向上に活用するため、研修履歴を記録しているか	A		
	(3)財務関係	学校設置会社の役員及び株式の状況	学校設置会社の役員及び株式の状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものであるか。	A	・学校設置会社の経営及び財務に関する状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものである。 ・就学支援金については、適正に執行されている。就学支援金指導監査についても問題なしと評価された。	
		学校経営に必要な財務等の状況	学校に必要な財務等の状況が決算短信に記載されている。その状況は学校を運営するにあたり適切なものであるか。	A		
		高等学校等就学支援金	高等学校等就学支援金に係る事務を適切に執行しているか。	A		
	(4)施設・設備	本校、面接指導等実施施設に備えるべき施設・設備	・教科・科目等の授業に必要な実験・実習等のための施設及び設備が備えられているか、体育の授業に必要な運動場等が確保されているか ・多様な生徒の実態を踏まえ、保健室の整備を行うなど、生徒にとって安心・安全な居場所を提供できているか	A	・教科・科目等の授業に必要な施設及び設備は備えられている。 ・保健室も整備されており、生徒にとって安心・安全な居場所を提供できている	
	(5)危機管理	法令義務のある計画の作成等	・学校保健計画、学校安全計画、危機等発生時対処要領、学校いじめ防止基本方針等を作成しているか ・避難訓練を実施しているか	B	・法令義務のある計画を作成している。 ・避難訓練は2025年3月に実施予定であるが、未実施の為B評価とする。 ・法定点検は問題なく実施している。 ・個人情報管理については、会社として管理しているサーバ上に置き、特定のVPN経由でなければアクセスできないように設定している。教員PCローカルフォルダに個人情報の保存をしないことの徹底、入室可能エリアの設定、個人情報保護研修・eラーニングを用いた研修も行い、情報漏洩防止徹底を図っている。	・避難訓練の実施
		施設の適切な維持管理	法定点検を実施しているか。	A		
		個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われているか。	A		

※評価基準…A：達成できている　B：どちらかと言えば達成できている。　C：どちらかと言えば不十分である。　D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	評価の視点	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策
2 教育課程等	(1)添削指導・面接指導等	各教科・科目等の学習時間や学習内容の設計	1 単位当たり35単位時間の授業が標準であることを踏まえ、面接指導・添削課題等の学習時間や学習内容について、指導要領に定める各教科・科目等の目標を達成するものとなるよう、適切に設計の上、指導が行われているか。	B	・面接指導・添削課題等の学習時間や学習内容について、指導要領に定める各教科・科目等の目標を達成するものとなるよう、通信教育実施計画に教科目標・学習目標を定め、適切に設計の上、指導している。本校の特徴である幅広い生徒層に学習内容を個別最適化できるようさらなる教材の拡充を図る ・添削指導の実施に当たっては生徒が学びを深められるよう姉妹校の科目担当とも教科理解をしながら、フィードバックを行っている。 ・面接指導は生徒の実態把握や計画的・体系的な指導できるようにし、活動を積極的に取り入れ、1教室40人以下で実施している。発問・討論・発表のサイクルを展開する授業、体育、美術などでは実技実習の授業を積極的に取り入れ、生徒が主体的に取り組めるような授業設定を行っている。発表が苦手な生徒にはグーグルフォームによる意見集約を行い、意見ができる仕組み実施している。	・2025年度より授業料値上げに伴い、学習教材の拡充を実施。標準学習時間を延長し自学自習の習慣を高めるようにする。現状では拡充前のためB評価とした。
		生徒一人一人の学習状況に応じた添削指導	添削指導の実施に当たっては、正誤のみの指摘や、解答に対する正答のみの記載、一律の解説の記載となっていないか。	A		
		計画的かつ体系的な指導	一定の時期に面接指導を集中的に行う（いわゆる「集中スクーリング」）ことなどによって、年度の前半に全ての面接指導を終える生徒がいるなど、生徒の実態把握や計画的・体系的な指導という観点から課題が生じていないか。	A		
		面接指導の工夫	主体的・対話的で深い学びをさらに発展させるため、講義中心の学習活動以外の活動を積極的に取り入れているか。	A		
		面接指導の人数	同時に面接指導を受ける生徒数は40人以下となっているか。	A		
	(2)試験・学習評価	試験の内容と実施時期	・添削指導及び面接指導等の内容と十分関連付けて、その内容及び時期を適切に定めているか ・学期末以外の時期に行われる集中スクーリングにおいて試験を実施していないか	A	・定期試験は適切な時期（4月入学者は11月以降、10月入学者は5月以降）に実施している。 ・評価の観点はレポートや視聴確認テストにも各教科の教員にて配分を行っている。動画学習の視聴前後で同一の問題を選択式と論述式で問うなど、理解度の把握も工夫をしている。評価基準は具体的に設定されており、学習マニュアル等で生徒保護者にも公開されている。	
		具体的な評価基準の設定	評価の3観点（知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度）及び趣旨を十分踏まえた具体的な評価基準が設定されているか。	A		
3 生徒支援	(1)生徒支援	生徒個々の実情に応じた支援	いわゆる非活動生や、履修登録しているにも関わらず添削課題への取組や面接指導への参加が困難な生徒に対し、個々の実情に応じ、適切な指導又は支援が行われているか。	A	・個々の実情に応じ、スクーリング参加時間の調整、実施場所、人数の調整などニーズに合わせ臨機応変に対応している。 ・管理職、保護者、ソーシャルワーカーと連携しながら、適切な指導、支援ができるよう取り組んでいる	
	(2)進路指導	生徒の社会的・職業的自立に向けた支援	進学・就職支援を担当する教職員やキャリアカウンセラーの配置により生徒の社会的・職業的自立に向けた支援の充実が図られているか	A	・教員による進路説明会・面接練習会・学校合同説明会の実施や、キャリアカウンセラーによる「進路カウンセリング」、「コミュニケーション講座」を実施している。	
4 その他	(1)学校評価		「学校運営点検調査」、「豊田市教育特区学校審議会」ほか学校関係者による評価、それぞれの立場・視点から意見を出し合うことを通し、開かれた学校づくりが進められているか。	A	・学校関係者評価を実施し、よりよい学校とできるよう、意見交換をし、開かれた学校づくりに努めている。 学校関係者評価アンケート「入学してよかったか」について満足度は95.2%であった。 学校関係者評価委員会構成：校長・教頭・保健主事・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・保護者	
	(2)通信教育連携協力施設との適切な連携協力関係の確保		・通信教育連携協力施設との連携協力について担当する教職員を配置しているか ・通信教育連携協力施設に対する本校職員の訪問や通信教育連携協力施設の職員を集める会議等が行われているか	A	・連携協力について担当する教職員を配置している。 ・各拠点定期的に職員が訪問し、毎週月曜日9：30～10：00に全拠点参加の全体朝礼、スクーリング前日の会議をオンラインで実施し、連携を高めている。	
	(3)情報公開		高等学校通信教育規程第14 条第1 項に掲げる事項（定員、通信教育を行う区域、名称及び位置、教職員数と組織、授業料・入学金等）をはじめ、学校の教育環境や取組、学校運営が適切に把握できるよう、必要な情報をホームページ等で公開しているか。	A	・ホームページ等にて学校の教育環境や取組、学校運営が適切に把握できるよう公開している。	
	(4)他校及び関係機関との連携		姉妹校・他校や自治地区・地域の組織と交流をもち、情報交換等を行い、学校全体の教育力を高められるよう努めているか。	A	・姉妹校との連携や、地元他校の授業見学、地域組織（とよた多世代参加プロジェクト、ゆるっとほけんしつ）と交流を持ち、学校全体の教育力を高められるよう努めている。	

※評価基準…A：達成できている　B：どちらかと言えば達成できている。　C：どちらかと言えば不十分である。　D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	評価の視点	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策
1 学校運営	(1)運営体制等	本校との区別	・生徒の進路選択及び心身の健康等に係る相談、添削指導に附帯する事務の実施その他の学習活動等の支援について連携協力を行う施設であり、面接指導等を実施していないか ・授業等について、実施校が行う高等学校通信教育に係る授業料と学習等支援施設が独自に行う活動等に係る費用の区別について、生徒・保護者に適切かつ明確な説明が行われているか	A	・美容コースRuneBi（在籍27名）を週2日実施で設置し、学びの機会を創出。 ・面接指導は実施していない。 ・月に1回数学の勉強会を実施し、希望者が参加している。参加延べ人数227人 ・費用については入学時確実に説明している。	
	(2)教職員の配置等	不登校経験や中途退学その他多様な課題を抱える生徒の実態等を踏まえたきめ細かな支援の充実	・養護教諭を配置しているか ・スクールカウンセラーを配置しているか ・スクールソーシャルワーカーを配置しているか ・特別支援教育コーディネーターを指名しているか	A	・養護教諭を名古屋栄キャンパスに1名配置している。 ・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーを配置。 ・特別支援コーディネーターを指名している。 ・卒業生を2名学習指導アルバイトとして雇用している。	
	(3)施設・設備	学習等支援施設の施設・設備	教育上及び安全上支障がないものか。	A	・毎月キャンパス実施のレポート会（数学）を開催。 ・保護者、生徒面談の場をキャンパスにて提供。 ・キャンパス内自習室完備により、常に学習できる場所を提供。平日は、大学生に来ていただき学習支援という形で学習指導を行っている。	
	(4)危機管理	施設の適切な維持管理	法定点検を実施しているか。	A	・法定点検は問題なく実施している。 ・個人情報管理については、会社として管理しているサーバ上に置き、特定のVPN経由でなければアクセスできないように設定している。教員PCローカルフォルダに個人情報の保存をしないことの徹底、入室可能エリアの設定、個人情報保護研修・eラーニングを用いた研修も行い、情報漏洩防止徹底を図っている。	
個人情報管理		生徒情報管理が適切に行われているか。	A			
2 生徒支援	(1)生徒支援	生徒個々の実情に応じた支援	いわゆる非活動生や、履修登録しているにも関わらず添削課題への取組や面接指導への参加が困難な生徒に対し、個々の実情に応じ、適切な指導又は支援が行われているか。	A	・個々の実情に応じ、スクーリング参加時間の調整、ニーズに合わせ臨機応変に対応している。 ・管理職、保護者、ソーシャルワーカーと連携しながら、適切な指導ができるよう取り組んでいる。	
	(2)進路指導	生徒の社会的・職業的自立に向けた支援	進学・就職支援を担当する教職員やキャリアカウンセラーの配置により生徒の社会的・職業的自立に向けた支援の充実が図られているか	A	・教員による進路説明会・面接練習会・学校合同説明会の実施や、キャリアカウンセラーによる「進路カウンセリング」、「コミュニケーション講座」を実施している。	
3 その他	(1)学校評価		「学校運営点検調査」、「豊田市教育局特区学校審議会」ほか学校関係者による評価、それぞれの立場・視点から意見を出し合うことを通し、開かれた学校づくりが進められているか。	A	・学校関係者評価を実施し、よりよい学校とできるよう、意見交換をし、開かれた学校づくりに努めている。 学校関係者評価アンケート「入学してよかったか」について満足度は95.2%であった。 学校関係者評価委員会構成：校長・教頭・保健主事・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・保護者	
	(2)情報公開		高等学校通信教育規程第14条第1項に掲げる事項（教職員数と組織、授業料・入学料等、通信教育連携教育施設ごとの状況）をはじめ、学校の教育環境や取組、学校運営が適切に把握できるよう、必要な情報をホームページ等で公開しているか。	A	・ホームページ等にて学校の教育環境や取組、学校運営が適切に把握できるよう公開している。	
	(3)他校及び関係機関との連携		姉妹校・他校や自治地区・地域の組織と交流をもち、情報交換等を行い、学校全体の教育力を高められるよう努めているか。	A	・姉妹校との連携や、地元他校の授業見学、地域組織（とよた多世代参加プロジェクト、ゆるっとほけんしつ）と交流を持ち、学校全体の教育力を高められるよう努めている。	

※評価基準…A：達成できている　B：どちらかと言えば達成できている。　C：どちらかと言えば不十分である。　D：不十分である。

分類	評価の観点	評価項目	評価の視点	評価	評価の観点と理由	今後の改善方策
1 学校運営	(1)運営体制等	本校との区別	・生徒の進路選択及び心身の健康等に係る相談、添削指導に附帯する事務の実施その他の学習活動等の支援について連携協力を行う施設であり、面接指導等を実施していないか ・授業等について、実施校が行う高等学校通信教育に係る授業料と学習等支援施設が独自に行う活動等に係る費用の区別について、生徒・保護者に適切かつ明確な説明が行われているか	A	・eスポーツコース（在籍56名）を設置し、週2日登校を2グループで実施し、学びの機会を創出。 ・面接指導は実施していない。 ・費用については入学時、適切かつ明確な説明している。	
	(2)教職員の配置等	不登校経験や中途退学その他多様な課題を抱える生徒の実態等を踏まえたきめ細かな支援の充実	・養護教諭を配置しているか ・スクールカウンセラーを配置しているか ・スクールソーシャルワーカーを配置しているか ・特別支援教育コーディネーターを指名しているか	B	・養護教諭は設置していない ・スクールソーシャルワーカーは電話での対応 ・特別支援教育コーディネーターと相談しながら支援をしている。	養護教諭の配置ができていないため、B評価とした。今後養護教諭を出張対応などし改善していく。
	(3)施設・設備	学習等支援施設の施設・設備	教育上及び安全上支障がないものか。	A	・職員3名が常駐し運営・整備されている。 ・愛知県から教員が定期的に訪問し、生徒面談や指導を実施している。	
	(4)危機管理	施設の適切な維持管理	法定点検を実施しているか。	A	・法定点検は問題なく実施している。 ・個人情報管理については、会社として管理しているサーバ上に置き、特定のVPN経由でなければアクセスできないように設定している。教員PCローカルフォルダに個人情報の保存をしないことの徹底、入室可能エリアの設定、個人情報保護研修・eラーニングを用いた研修も行い、情報漏洩防止徹底を図っている。	
		個人情報管理	生徒情報管理が適切に行われているか。	A		
2 生徒支援	(1)生徒支援	生徒個々の実情に応じた支援	いわゆる非活動生や、履修登録しているにも関わらず添削課題への取組や面接指導への参加が困難な生徒に対し、個々の実情に応じ、適切な指導又は支援が行われているか。	A	・個々の実情に応じ、スクーリング参加時間の調整、ニーズに合わせ臨機応変に対応している。 ・管理職、保護者、ソーシャルワーカーと連携しながら、適切な指導ができるよう取り組んでいる。	
	(2)進路指導	生徒の社会的・職業的自立に向けた支援	進学・就職支援を担当する教職員やキャリアカウンセラーの配置により生徒の社会的・職業的自立に向けた支援の充実が図られているか	A	・教員による進路説明会・面接練習会の実施や、キャリアカウンセラーによる「進路カウンセリング」、「コミュニケーションアップ講座」をオンラインで実施している。	
3 その他	(1)学校評価		「学校運営点検調査」、「豊田市教育特区学校審議会」ほか学校関係者による評価、それぞれの立場・視点から意見を出し合うことを通し、開かれた学校づくりが進められているか。	A	・学校関係者評価を実施し、よりよい学校とできるよう、意見交換をし、開かれた学校づくりに努めている。 学校関係者評価アンケート「入学してよかったか」について満足度は95.2%であった。 学校関係者評価委員会構成：校長・教頭・保健主事・スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー・保護者	
	(2)情報公開		高等学校通信教育規程第14条第1項に掲げる事項（教職員数と組織、授業料・入学料等、通信教育連携教育施設ごとの状況）をはじめ、学校の教育環境や取組、学校運営が適切に把握できるよう、必要な情報をホームページ等で公開しているか。	A	・ホームページ等にて学校の教育環境や取組、学校運営が適切に把握できるよう公開している。	
	(3)他校及び関係機関との連携		姉妹校・他校や自治地区・地域の組織と交流をもち、情報交換等を行い、学校全体の教育力を高められるよう努めているか。	B	・姉妹校や他拠点と情報交換を行いながら教育力を高められるよう努めている。	